

事務事業チェックシート

事務事業No 470 事業名 緑地維持管理事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	3	魅力ある都市景観の創出
施策	2	都市緑化・都市美化の推進
取組方針	2	都市公園等の充実

事業種別	
事業期間	～
事業実施の根拠法令	都市緑地保全法、都市公園法
関連個別計画	緑の基本計画
担当課・担当課長 (Tel)	公園緑地課 西上 和久 (435-1076)
関連課	

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		土木費	
	項		公園費	
	目		公園管理費	
	大事業 事項		公園管理事業 緑地維持管理事業	

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的 (「誰・何」をどういう状態にする) ための事業か) 市民の憩いの場である紀の川緑地を維持管理するための事業	事業内容 紀の川緑地の維持管理。除草、施設・遊具等の修繕、便所の汲取り、清掃等。				
	実施内容	平成26年度 紀の川緑地の有料施設の貸出業務、除草、清掃、修繕等	平成27年度 紀の川緑地の有料施設の貸出業務、除草、清掃、修繕等	平成28年度 紀の川緑地の有料施設の貸出業務、除草、清掃、修繕等	平成29年度 紀の川緑地の有料施設の貸出業務、除草、清掃、修繕等	平成30年度 紀の川緑地の有料施設の貸出業務、除草、清掃、修繕等

2 事業コスト

事業費等 (千円)	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	41,082	32,805	44,751	45,866	49,518	37,899	47,879		47,879	
伸び率 (%)	-	-	8.9%	39.8%	10.7%	▲17.4%	▲3.3%	▲100.0%	0.0%	-
人件費										
正規職員	19,661	15,848	16,187	15,615	15,615	20,291	20,291		20,291	
正規職員以外	1,005	2,527	2,709	2,501	2,501	4,207	2,855		2,855	
小計	20,666	18,896	18,896	18,116	18,116	24,498	23,146		23,146	
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0		0	
県支出金	12,781	12,236	14,059	13,824	16,800	11,941	15,878		15,878	
市債	0	0	0	0	0	0	0		0	
その他	2,643	2,544	1,717	2,255	1,890		1,998		1,998	
一般財源 (税等)	25,658	18,025	28,975	29,787	30,828	25,958	30,003		30,003	
所要人数 (人)										
正規職員	2.63	2.13	2.13	2.05	2.05	2.55	2.55		2.55	
正規職員以外	0.48	1.29	1.29	1.14	1.14	1.91	1.24		1.24	
主な予算内訳	光熱水費1,004千円、手数料5,817千円、管理委託料34,884千円、業務用器具等修繕料603千円									

3 目標及び実績

指標	指標名	単位		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
				目標値	実績値	達成度 (%)	目標値	実績値
活動指標	有料施設貸出施設数	件/年	目標値	6	6	6	6	
			実績値	6	6	6		
			達成度 (%)	100.0%	100.0%	100.0%		
成果指標	有料施設貸出件数	件/年	目標値	2,000	2,000	2,070	2,095	
			実績値	3,366	3,443	3,187		
			達成度 (%)	168.3%	172.2%	154.0%		
			目標値					
			実績値					
			達成度 (%)					

4 事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい		一部見直しが必要	○	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)		達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	利用件数の増加に伴い事業内容の充実はコストが拡大する傾向があるが、コストの現状を維持しつつ快適な緑地の充実に努める。
見直し・改善内容	利用件数の増加に伴い、維持管理コストは増大するが、従来の対症療法型管理から予防保全型管理への転換を図り、ライフサイクルコストの縮減を図る。